

Library Information

図書室からのお知らせ

■臨時休館について

7月17日(土)は町役場庁舎および町生涯学習センターの電源工事のため、図書室を臨時休館します。

利用者の皆さんには、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

■休館日

7月17日(土)

※返却ボックスもご利用いただけません。

- 図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先
町生涯学習センター図書室
☎096-234-1111(内線330)
✉k1g110@town.kosa.lg.jp

究極の孤独を味わう「消失刑」

梶尾 真治著 / 『ボクハココニ・イマス』



光文社

小説

実刑判決を受けた男・浅見克則は、“懲役刑”と“消失刑”のどちらかを選ぶ、と言われる。“消失刑”とは、いったいどんな刑罰なのか？。そこに待ち受けていたのは、誰にも存在を知られない、話せない、さわれない、究極の孤独。僕はいないも同然だった。それでも、僕は彼女を救いたかった。カジシワールドの新たな傑作が登場。

親が読んで子供に教える将棋入門

沼 春雄著 / 『お父さん、お母さんが子供に教える将棋入門』



創元社

娯楽教養

家族で楽しみながら、将棋を覚えるための入門書。初めて将棋に接する人でも分かるように、将棋を指す前の基礎知識から、駒の動かし方とマナー、詰みとルール、八枚落ち、棒銀戦法、中飛車戦法までを丁寧に解説。この1冊で、将棋が指せて勝てるようになります。子供が読んでもわかる入門書の決定版です。将棋を始めたい大人も、ぜひ。

幸せに貢献している会社を紹介

坂本 光司著 / 『ちっちゃいけど世界一誇りにしたい会社』



ダイヤモンド社

一般書

40年以上、早朝から行列がとぎれない年商3億円超の「幻のようかん」、五輪3大会連続で金銀銅独占の「魔法の砲丸」、現代アートを取り入れてリピーター率を上げた450年以上続く旅館…。6,300社以上の会社を見続ける、法政大学大学院教授の著者の最新作。社員30人以下でも、思いやりに満ちた、学ばべきことの多い会社8社を紹介。

忍者サノスケじいさんわくわく旅日記

なすだみのる著 / 『怪物たいじの巻』



ひのくま出版

児童書

スーパーじいさんのサノスケじいさんと、孫の一郎太が全国を訪ねて大活躍する『忍者サノスケじいさんわくわく旅日記』のシリーズ30巻は、「怪物たいじの巻」。今回は、徳島県の旅へ。サノスケじいさんの友だちに誘われて、徳島県の阿波おどりを見にやってきた一郎太たち。そこで、迷子になっていたドイツの女の子と出会い…。

町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人3冊まで、8日間

神

去村の住人は、「なあなあ」と言う言葉と共に、山と木と川、虫や鳥、けものど神様との毎日を生き生きと暮らす日常を描かれています。

お話の舞台は、三重県中西部、奈良県との県境にある山村です。主人公は、高校卒業式当日までコンビニでバイト。この若さで人生決まるのは気が進まない、就職にも後向き。ところが、卒業式が終わって突

今月の案内人



赤星美奈子さん
〔中横田区〕

然、神去村への行き方を書いた紙を渡され、新幹線に押し込まれてローカル線の終点で降り、いきなり森林組合に放り込まれて、林業と言う

～ My Favorite Story ～

私のおすすめ図書

『神去なあなあ日常』(三浦しをん著)

チェーンソーを片手に山仕事。先輩の鉄拳、ダニやヒルの襲来。高校卒業と同時に放り込まれた山奥の村で林業に従事し、自然を相手に生きてきた人々に出会う物語。

きびしい世界で成長していきます。

村の暮らしや山のしきたり、村の人々とのふれ合いを通し、絆(きずな)が生まれます。やがて、仲間としてオオヤマツミサマの祭に参加を許されます。

自然の神秘、力を大事にしながら、時には困っている主人公に大笑いしながら、話の中に引き込まれていきます。

心の中が、チョットあたたかくて、さわやかな気分を味わえる作品です。

ぜひ、主人公になったつもりで読んでみませんか？

- あなたの「おすすめ図書」をご紹介しますませんか？

町生涯学習センター図書室

☎096-234-1111(内線330)

✉k1g110@town.kosa.lg.jp

Public Hall

町公民館からのお知らせと話題

▶町公民館からのお知らせ

甲佐町観光ボランティアガイド養成講座の受講生募集

町教育委員会および町公民館では、観光ボランティアガイドとして、本町の文化財や史跡などを案内する人を養成するための講座を開講します。

- 募集定員 15人
- 受講対象者 どなたでも受講できます。
- 受講日程 8月3日(火)～9月7日(火)での6日間、午前10時～正午
- 受講会場 町生涯学習センター研修室および現地
- 受講料 無料
- 受講内容 本町の文化財および史跡に関する知識、ガイドの仕方、現地での実習など
- 申し込み締め切り 7月21日(水)

- 公民館講座や町民大学などに関するお問い合わせ先
町教育委員会公民館事務局
☎096-234-1111(内線321)
✉klg110@town.kosa.lg.jp

で、受講者は26人。
甲佐地区では、上揚の甲佐神社境内にある「緑川上流通漕碑」や、岩下の「井芹経平



▲緑川上流通漕碑(上揚・写真左)を見学する受講生たち

を主催しました。
講師に、甲佐町総合型地域スポーツクラブ「I・Y・O・U

の男子は、「どっちの競技も楽しくて、またやってみたい」と息を弾ませました。

6月19日(土)町生涯学習センター・ホールで、こども講座「スポンジテニスとバドミントンをやってみよう!」

を主催講座「こども講座」スポンジテニスとバドミントンに挑戦!

作を受講。最初は空振りを繰り返していましたが、見るうちにラリーができるようになるまで上達。最後に、ダブルスに挑戦し、汗をにじませてゲームを楽しみました。

5月26日(水)、平成22年度「郷土の歴史を訪ねて」の第1回講座を開講し、甲佐地区と竜野地区の史跡を見学しました。
講師は、町文化財保護委員の久米壯亞さん(麻生原区)

主催講座「郷土の歴史を訪ねて」 甲佐・竜野の史跡を見学

生誕の碑」、仁田子の「西住戦車長顕彰碑」などを見学。緑川を下りながら、津留川との合流点やハネについての歴史も学習しました。
また竜野地区では、上早川の海陸神社や中横田の目野薬師堂などを拝観しました。
60歳代の女性は、「甲佐にもたくさんのお偉人や偉人の活躍があったことを知って、ますます歴史への興味を持ちました」と話しました。



▲アユスポ会員から基本動作の指導を受ける子どもたち

スポーツクラブ」の会員の皆さんを迎えて実施しました。初めに、子どもたちは、ラケットの持ち方などの基本動

Human Rights

人権～自分らしく生きるために～

公正採用選考について

公正採用の重要性

職業選択の自由、すなわち就職の機会均等などは、生活の安定や社会参加など、人が幸せに生きていくための基本的な人権に関わるものであり、すべての国民に、この権利が保障されなければなりません。

職業選択の自由の確保を図るためには、まず雇用主たる企業が、同和問題をはじめとするさまざまな人権問題に対する正しい理解と認識のもとに、差別のない適正な採用選考を行うことが必要であり、その徹底を期するために

は、関係機関および団体と緊密な連絡を図ることが重要です。

採用選考に当たって

❖基本的な考え方

募集職種に必要な応募者の適性と能力以外の事柄を、採用の条件としてはなりません。

選考方法としては、学科試験、面接選考、必要に応じて健康診断、適性検査などさまざまな方法が取られますが、多角的、総合的に評価するように努める必要があります。

❖選考内容と採否の決定

選考に当たって身元調査を行うこと

は、適正な採用選考に反するだけでなく、差別的選考につながりますので、絶対に行ってはいけません。

また、最近の傾向として、直接質問するのではなく、「無理に答えなくていいから」と言って質問したり、任意のアンケートを取ったりするといった間接的な差別行為が行われるなど、悪質なケースが見られます。

- 人権に関するお問い合わせ先
町教育委員会社会教育課
☎096-234-1111(内線323)
✉klg110@town.kosa.lg.jp